

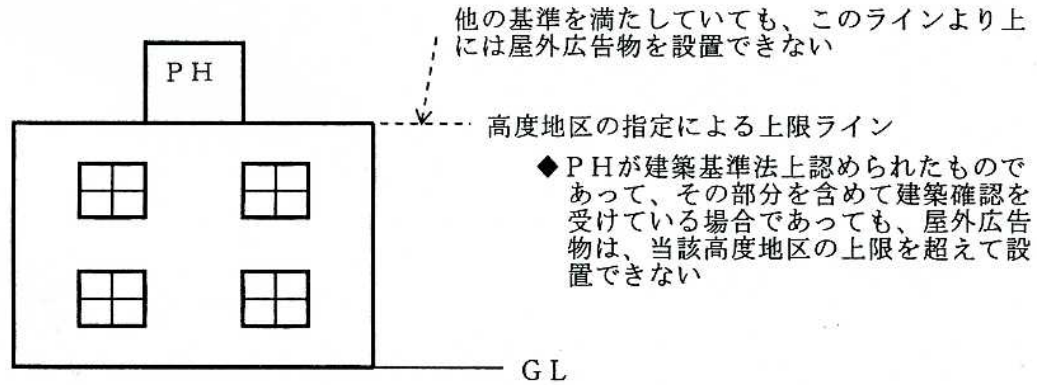
■ 種類別基準

- 建築物を利用するもの

屋上広告物

● 屋上広告物の共通基準

- ◆ 高度地区の指定による限度



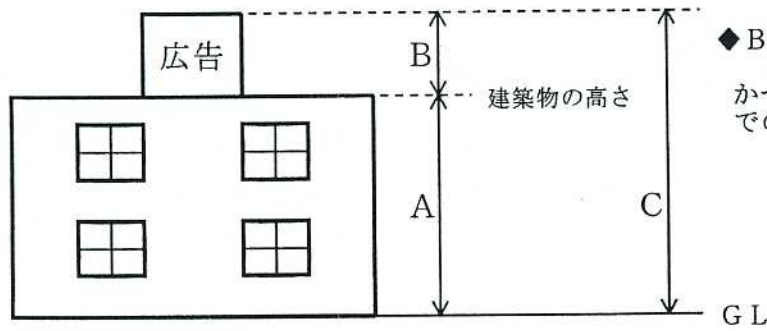
- ◆ PHが建築基準法上認められたものであって、その部分を含めて建築確認を受けている場合であっても、屋外広告物は、当該高度地区の上限を超えて設置できない

- ◆ 和風建築物の棟には屋外広告物を掲げないこと
◆ 屋根には直接ペンキ等で表示しないこと

● 屋上広告物の地域別基準

- (A = 建築物の高さ (= 建築物の最高の高さ)
B = 広告物の高さ (= 建築物の高さから広告物の表示面積部分の上端まで)
C = (平均G Lから広告物の表示面積部分の上端までの高さ)

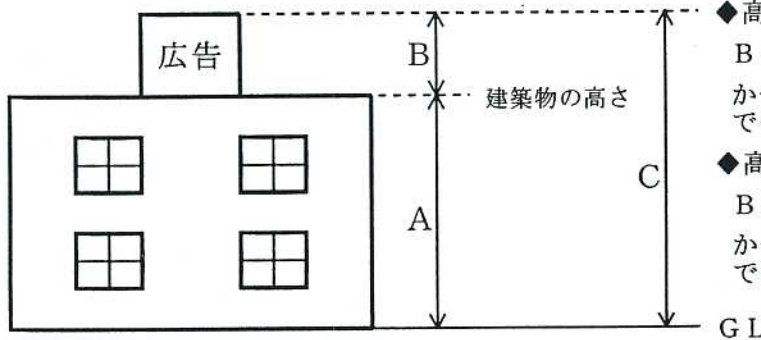
- 屋上第2種地域（第1種・第2種中高層住居専用地域、第1種・第2種住居地域、又は準住居地域で第1種地域以外の地域）



◆ $B \leq A \times \frac{1}{2}$ で

かつ地上から広告物の上端までの高さが2.5m以下

- 屋上第3種地域（第1種・第2種地域以外の地域）



◆ 高さ(A)が1.5m未満の場合

$B \leq A \times \frac{1}{2}$ で

かつ地上から広告物の上端までの高さが2.0m以下

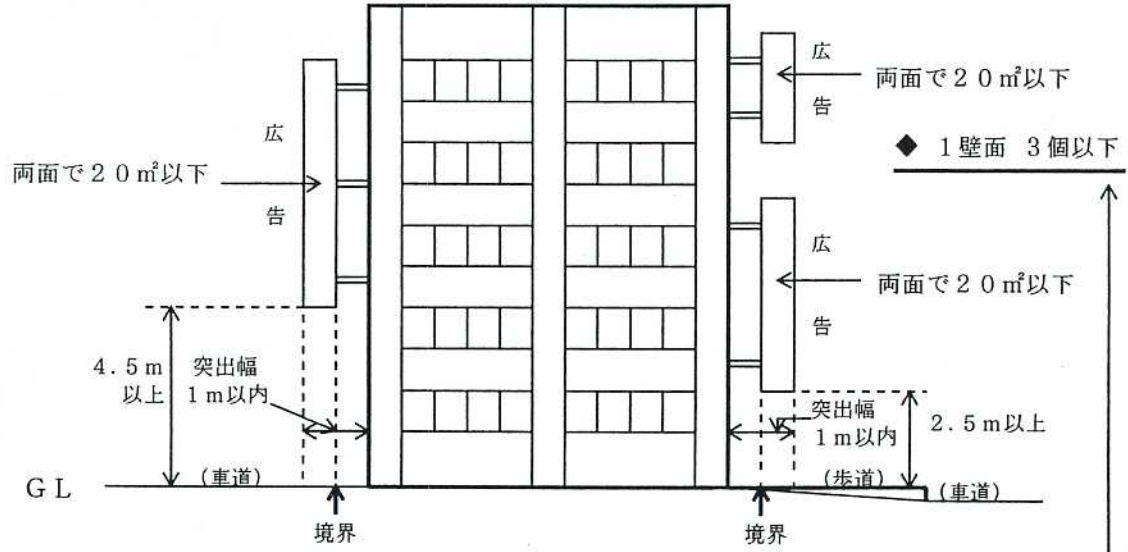
◆ 高さ(A)が1.5m以上の場合

$B \leq A \times \frac{1}{2}$ で

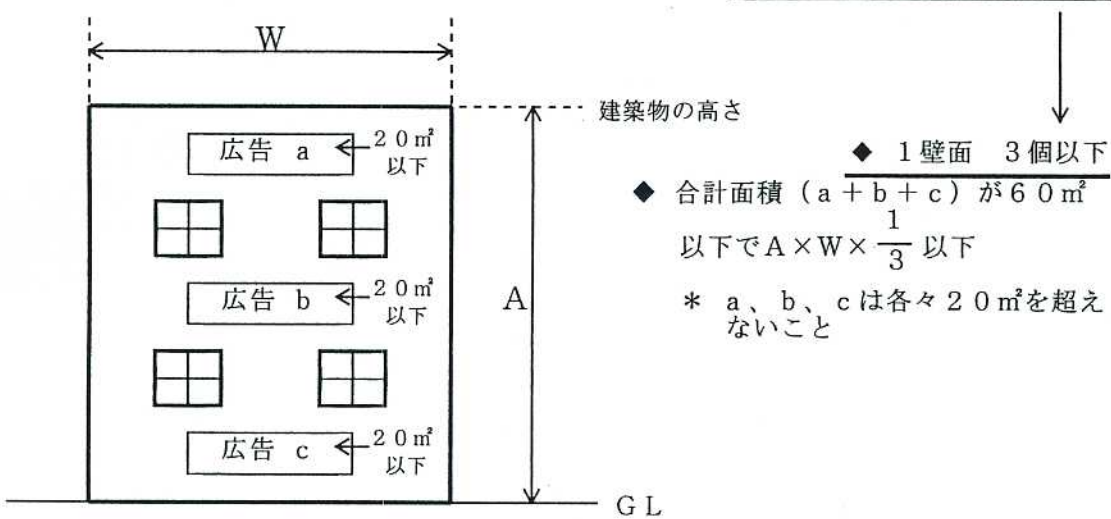
かつ地上から広告物の上端までの高さが3.6m以下

軒下広告物

○突出

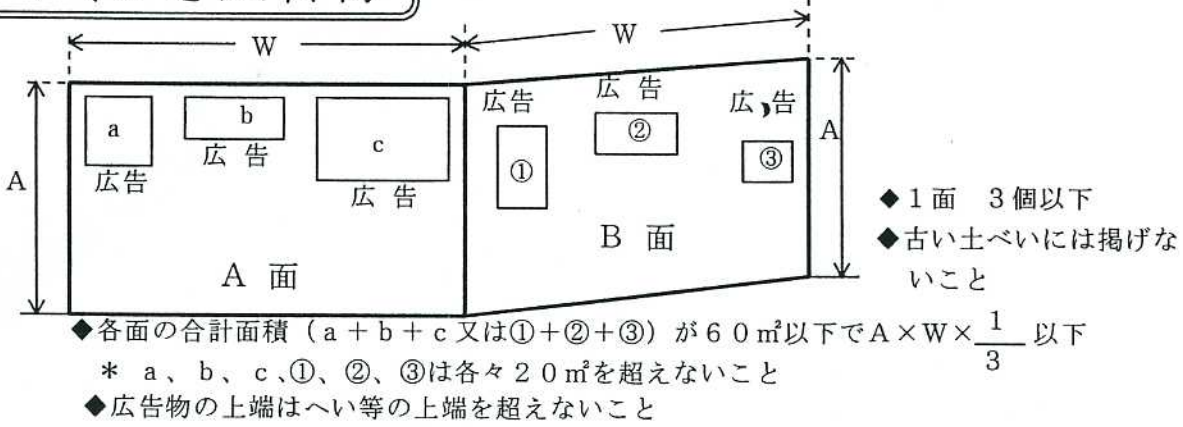


○壁面

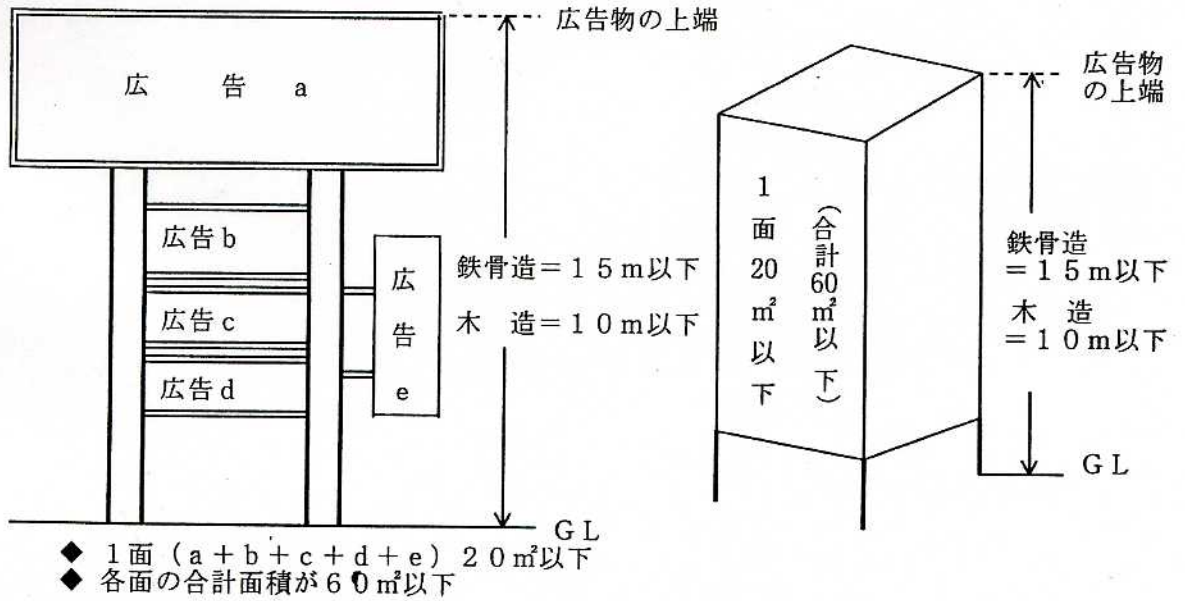


突出+壁面で1壁面3個以下

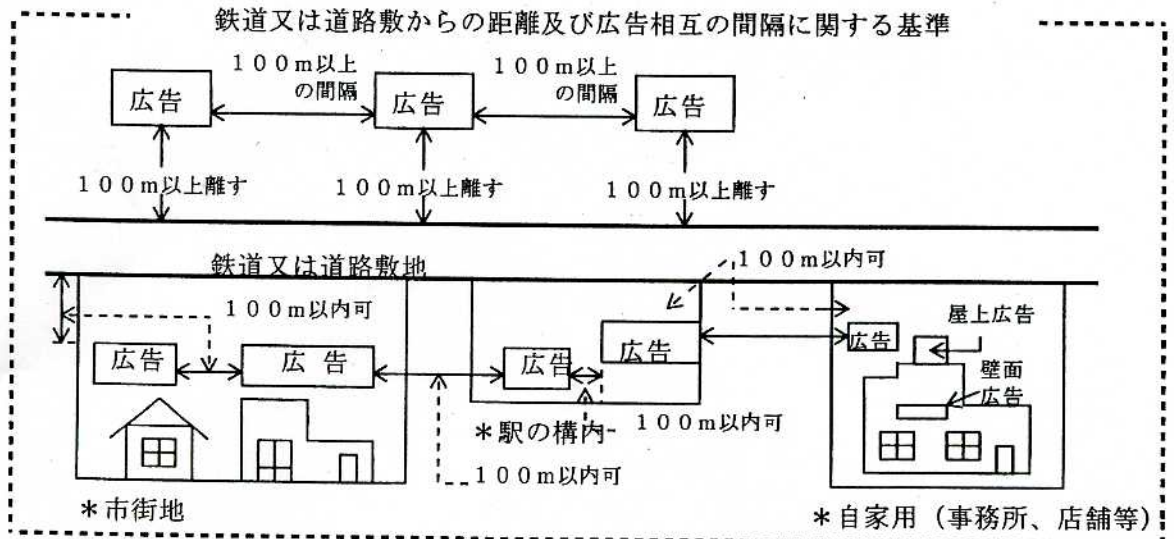
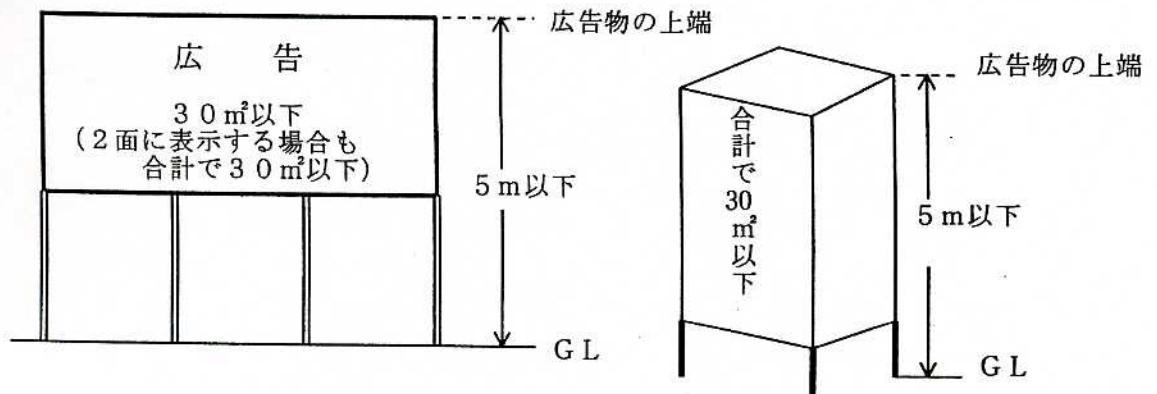
へい、かき広告物



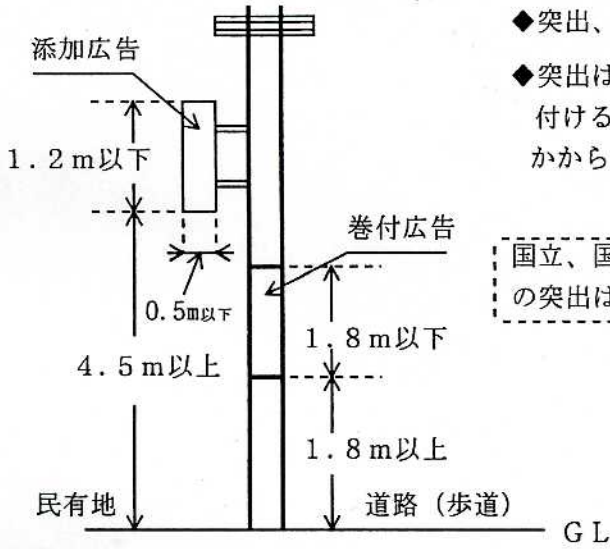
広告塔



建植広告物



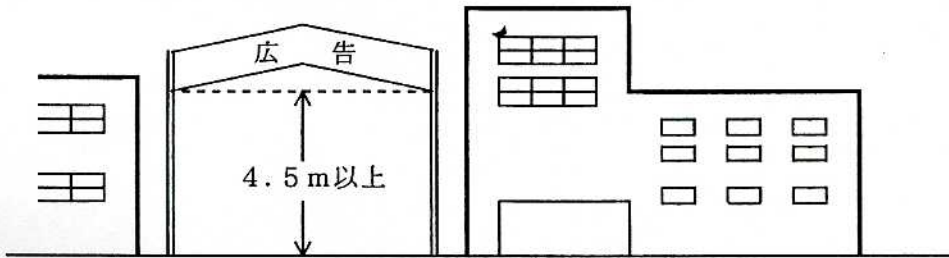
電柱広告物 (突き出し広告、巻き付け広告)



- ◆ 突出、巻付は電柱1本にそれぞれ1個
- ◆ 突出は、道路と反対の方向（私有地側）に取り付けること。[突出の先端が道路（歩道）上にかからない場合は、この限りでない]

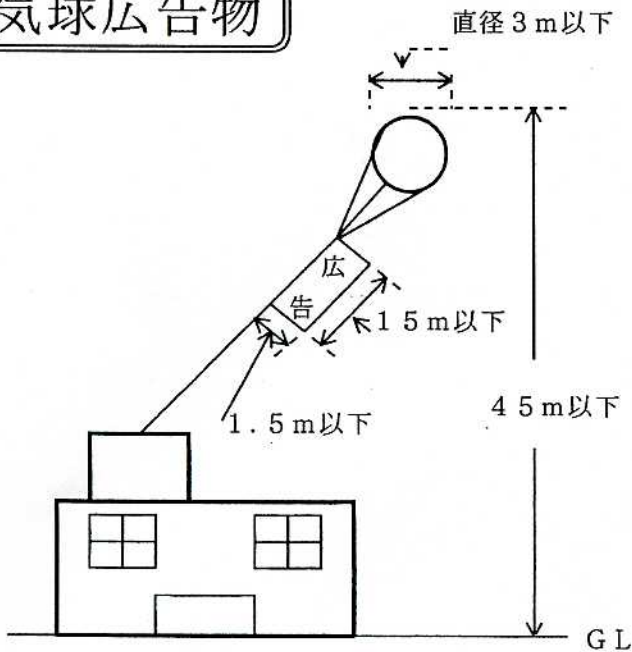
国立、国定公園及び県立自然公園の特別地域内の突出は、設置高さが5m以下とされている

アーチ広告物



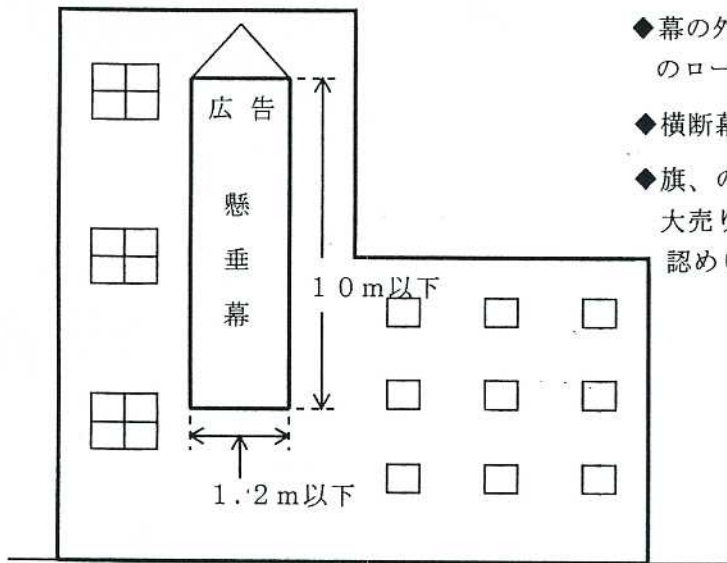
- ◆ アーチ上部には、地名、商店街名等公共的な名称のみ表示
- ◆ 上記以外の広告物は、下部の柱部に掲出

気球広告物



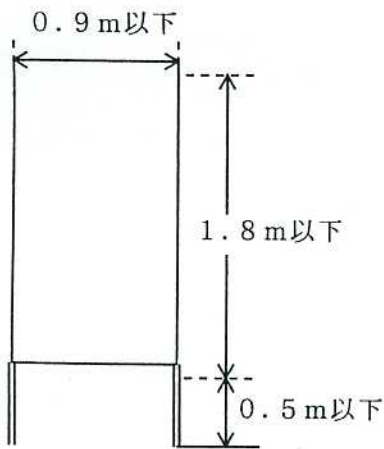
- ◆ 掲揚中に電線、煙突、建築物等に触れないこと
- ◆ 広告面にネットを使用のこと
- ◆ 風速5m以上の時は掲揚しないこと
- ◆ 気球に補助網があること

広告幕 (懸垂幕、横断幕、旗、のぼり等)



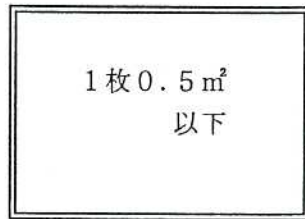
- ◆幕の外周には、風圧に耐えられる太さのロープをいれること
- ◆横断幕は繁華街においてのみ掲げること
- ◆旗、のぼり等は祭日、縁日、臨時興業、大売り出しのほか、商店街の慣習として認められている場合に限る

□ 立看板

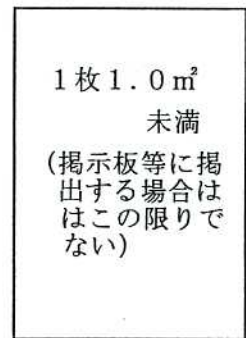


- ◆設置期間は、2ヶ月以内

□ はり札



□ はり紙



- ◆新聞紙に墨書き又は絵具書きしたものは掲出しないこと
- ◆掲出期間は、1ヶ月以内